

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	台湾国立大学 (台湾)		
所属プログラム・ 学部・研究科	中国文学学部		
報告書提出日	2019年9月29日		
留学予定期間	2019年9月～2020年1月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 540 (USD) /合計
 航空券代： 151,870 (JPY) /合計
 ビザ申請関連費： 10000 (JPY) /合計
 その他 (): () /合計
 ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

4千円かかるが、なにか問題が起こったりして日本に帰らなければならなかったり、ほかの国に旅行に行けるようにマルチプルをとることをお勧めする。台湾は中国や香港に近いので旅行がしやすい。私は行っていないが、私の友達も上海の就職セミナーに参加していた。そのようなチャンスもあるので、マルチプルの方が良いと思う。

1.2. 渡航について

台北松山空港についてから、地下鉄を乗り継ぎ到着。一回乗り換えあり。約30分で到着。最寄り駅、公館から徒歩10分。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

事前に用意する物（写真二枚や入学教科書、そのコピー）とともに、寮のフロントで渡された契約書を記入して提出。最悪コピーであれば近くのセブンイレブンでできる。フロントは、留学生が多く、並んで、直して、を繰り返して2時間ほどかかった。かなり時間がかかることを覚悟していた方がよい。ほんとにうんざりするほど長く、出国で疲れた体にくる。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

VISITAR VISA なのではなかった、留学が1年の人は VISTAR VISA ではないのではないかと思う。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

着いた次の日にキャンパスツアー。二時間ほど日本語ができる学生が案内してくれた。その次の日がオリエンテーションで3時間ほど。その週の日曜がプレイスメントテスト。内容は、マークテスト、記述、オーラルテスト。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

HSK5級取得、日常会話に支障がないくらい話せるようになる。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

正直ここに来るまでの学習準備は不十分だった。もっとリスニングの勉強をしておくべきだった。漢字は大体読めるので問題はないが、聞くことが本当にできない。毎日音読して聞けるようになりたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

日本から持ってきた単語帳 500 語×2 を終わらす。毎日音読を 30 分する。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	午前 Chinese general 午後 なし
火	午前 Chinese enhancing 午後 中国近代史
水	午前 Chinese general と 台湾史
木	午前 Chinese enhancing 午後 老子
金	午前 Chinese general 午後 台湾近代史
土	
日	

4.2. 授業について

Chinese general / 中国語の基礎・ほぼ理解できる。あたりまえだが全部中国語の授業。プレイスメントテストをしたから、自分に合ったコースになっている。ちゃんと基礎を教えてくれるし、理解しやすい。確実に神大の第二言語のレベルではやらないような本格的なこともする。授業の進度は一週間に一課ずつ。進みも最適。でも、自分をもっと上のクラスに行きたいのならもっと留学に来るまでにやるべきだと思った。

Chinese enhancing / 中国語の基礎・ジェネラルと同様、理解できる。ジェネラルより実用的。ジェネラルは文法などのテキストを使って基本的なことを進めていく感じだが、エンハンスは会話や日常で使う言葉をやることが多いかもしれない。ジェネラルは教科書から小テストをやるが、こちらは教科書にない会話をやる場合もあるので、ジェネラルより点数が取りにくいかもしれない。わたしのクラスだけかもしれないが、よく脱線するのでちゃんと進んでいるかと聞かれると少し不安である。

中国近代史 / 内容のレジュメや内容は、高校で世界史をとっていたならば、わかる内容。ただし、何を言っているかは、聞けない。たまに知っている固有名詞は、きける。(国の名前など) 討論の時間などあるがやっている内容もとても難解(東インド会社のことや太平天国のもっと深いことについてのお題だったりする) 正直討論会だが全然話せない。まず言っていることも歴史用語が多すぎて難しい。成績の60%くらいが出席とレポートなので、そこは確実に取れるように頑張る。40%が期末テストなので頑張るしかないけれど不安しかない。

台湾史 / 専門的用語が多い上に、先生も話すのが早くついていくのが本当に困難。近代ではなく、今までの台湾歴史すべてを含んでいるので、難しい。日本語の台湾の歴史の本を読もうと考えている。10月末からグループワークが始まる。でも先生が、日本語がわかるらしくて、日本人の学生も多かった所以对応がすごくよかった。期末テストよりレポートなどの点数が高いため、この授業を選択した。

老子 / 本当に難しい。高校の時に少しやったからいけるかなと安易にとってしまったことを後悔している。日本語の老子の現代語訳を買って予習している。それでもついていくのが本当に難しい。まだ成績の割合(レポート何割、テスト何割)ということを先生が提示していないので、わからないが、レポートが多いことを願う。授業進度は早いと思う。普通の台湾大学の生徒でさえこの授業は難しいと言っているので、普通の授業よりも難しいと思う。でも先生がとても優しい。

台湾近代史 / とっている中では一番わかりやすい。なぜなら、近代史なので、日本統治時代からのスタートで、日本のことが多く、理解しやすい。しかし、学期末に3000字(もちろん中国語)のレポートがあることが本当不安ではあるが、日本人と取っておきたい授業の1つだと思う。ただ進む進度はとっている授業の中では1番早いかもしれない。スライドの一枚一枚の文字数もとても多く、スライドの量も多い。多分一回ごとに20枚くらいはあるのではないかと思う。

4.3. 予習・復習・自習について

Chinese general / 宿題は毎日あり、小テスト(聞き取り)は毎回、レッスンごとにテストがあるので、1週間に1度はテストがある。なので、毎日テスト勉強をする。テキストの課題や、課題のリスニングもする。教科書が分かりやすいので比較的勉強しやすい。

Chinese enhancing / 三回に二回くらいテストがあるのでそれに向けて勉強するのと同時に、課題もあるのでそれを必ずやる。教科書も対話練習が多めなので、聞けるだけではなく、自分で言えるように練習している。テキスト以外にも先生がプリントを配るだが、このプリントに出てくる進出単語が多いので、これをおぼえるのに結構時間がかかる。

中国近代史 / 授業で与えられた課題の本を読む。なぜなら、10月から討論が加わったので、本についての知識がないと参加することが難しい。毎回次の討論のテーマが提示されるので、その本を読むのが予習である。学期末のレポートが提示された小説について書くことであるので、その本も読み進めつつ、自分で中国の近代史について調べておくことで授業が分かりやすくなる。台湾大学の図書館には、結構日本語の本があるので、中国近代史の日本語訳を借りることができる。

台湾史 / 与えられた部分の資料や本を訳す。11月の始めに与えられた資料についてレポートを書かねばならず、それまでに読んで訳さねばならない。台湾の歴史についてもっと知るために、自身で台湾の歴史の本を買った。日本語なのでわかりやすい。正直授業の内容はあまり復習してない。

老子 / 2週間に1度くらいの頻度でレポートの提出がある。正直、レポートを書くので精一杯である。ただ授業のスピードが速いので、スライドの内容を家に帰って復習する。本当に難しいので、自分1人では理解出来ないことが多いので、友達やバディに聞くこともある。

台湾近代史 / 自分自身で台湾と日本について調べる。授業内では、日本統治の歴史をやっているのので、自分的にもわかる資料が多く、自分で調べやすい。またスライドも文字が多く、スライド量も多いが、本当に日本人にとってわかりやすく興味を持てる内容であるために、復習するのもあまり苦ではない。予習をすることはないが、復習だけでついていくことは可能であると思う。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮 (その他:)
----	-------------

5.2. 課外活動について

休日・朝カフェに行って勉強する。図書館や本屋へ行くこともある。あまりどこかへはまだ行っていない。しかし10月末には中国に行こうと考えている。台北では、総統府に行った。違う歴史的場所に行きたい。台北だけではなく、台中や台南、桃園や花蓮にも行きたい。

5.3. 現在までの感想

二人部屋なのだが、一つの部屋を二人でつかっており、同じスペースなので結構気を遣う。私的には結構ストレス。寮ごとに1つずつコインランドリーがあるのは便利。

日本人なので大体漢字はわかるのだが、なにせ発音ができない。そして聞けない。漢字の発音が似ているのは一見覚えやすそうなのだが、咄嗟の瞬間は、日本語の発音が邪魔をして、中国の発音が出てこないことがある。よくある。

でも、日本の漢字は、簡体字より繁体字よりであるので、すごく覚えやすい。大学のレジュメやスライドも理解しやすい。

大学のレベルが高いだけでなく、台湾の人の英語能力が高く、みんなが当たり前のように英語を話せることができる。だから、授業の時に何かわからないことがあって、中国語で言えないとしても、英語で聞けば周りの学生がペラペラと答えてくれる。本当にすごい。

台湾の人は本当に優しい。私たちが思っているよりは、日本統治時代の話はタブーでないと思う。(深

入りした話はしたことないが授業を受ける限りはそう思う。)

日本食、日本のチェーン店が多く、物価が本当に安い。気候も雨が多く UV 指数が以上に高いことを除けば、衣食住は日本人にとって本当にしやすい気であると思う。しかし、蚊が多すぎる。秋になってもいるし、刺されたら 4 日は腫れるほど強力。

以上

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書（12月）

所属	外国語学部	国際文化交流学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	国立台湾大学 (台湾)		
所属プログラム・ 学部・研究科	中国文学		
報告書提出日	2019年12月1日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

・就職活動に有利になるようにする。そのために HSK5 級を取得する。日常会話が全部中国語でできるくらいになる。企業にアピールできる自分の長所を、留学を通じて見つける。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

中間テストの勉強があったせいか、自分で進める学習はあまり進まなかった。また、中間テスト後は少し気が緩んでしまい、前ほど勉強をしない日もあった。残り 6 週間を無駄にしないように、今日から授業以外の学習にも多く時間をかけていきたい。少なくとも、授業以外の勉強を 1 日 2 時間以上はしたい。

1.3. 今月の学習・研修目標

HSK で 5 級をとることも大事だが、同じように TOEIC700 点を取るという目標も進めていきたい。当初は中華圏に留学しているのだから中国語しか勉強しなくてよいと思っていたが、ここから周りの日本人の英語力の高さに驚き、自身の無知力を直に感じた。幸いクラスメイトにネイティブの英語話者もいるため、この機に中国語だけではなく、英語力も伸ばそうと決意した。そのため帰国後は HSK5 級と同時に TOEIC700 点が取れるように勉強していく

2. 学修について

2.1. 授業について

General Chinese・ほぼ毎回ある小テストをやりつつ、教科書通りに進めていく。前回から変化はなし。余計な時間はなく、教科書にとっても忠実。理解はほとんどできている。自分的には自分が 1 番理解でき、内容が充実している授業だと思っている。

Enhance Chinese・ジェネラルと同じく、自分のレベルに合わせている授業であるので、理解はほぼできる。課題が面白く、この間は 10 分の短編映画をグループで作るといったものだった。私とアメリカ人とスペイン人と、もう一人の日本人と映画を作った。終わってみると力になったと思う課題であった。授業は、大体教科書通り。

中国近代史・中国の近代史を、二時間先生が話し、1時間はグループで討論会。先生が話すときは、レジュメがない上に、専門用語もとても多いので、正直私のレベルでは理解するのはとても難しい。討論会も休まず参加しているが、ほぼ理解できていない。日本に関係のある歴史や、世界史で習ったようなレベルであれば、少しは理解できている。

台湾史・レポートを書く課題が今月は二回出た。この授業で最初のレポートが1000文字で、文献を読み解いて書くものだったためか、この2つのレポートは難なくこなせた。授業内容は、スライドを見て、ようやく理解できそうなレベルである。

老子・現役の台湾大生でも難しいという老子の授業は、本当に理解できない。ただ、第何章とレジュメを提示してくれるので、その部分の日本語誤訳を自分自身で見つけた老子の現代語訳の本と照らし合わせて理解しようと努力している。

台湾近代史・レジュメの情報量が多く、理解しやすい。何より日本に関係ある部分が多いので、とても関心が持てる。

2.2. 予習・復習・自習について

General Chinese・この授業で学ぶことは本当に全部大事であるので、特に復習を大事にしている。課題をやり、そのあとに復習をしている。この授業は教科書通りであるので、とても予習がしやすい。

Enhance Chinese・教科書は存在するが、先生が独自のプリントを毎回持参するので、予習があまりできない。教科書も大事だが、先生が持参するプリントの方が内容が濃いような気がするので、このプリントをおぼえるように復習をしている。

中国近代史・正直予習と復習ができるほど、授業は理解できていないと思うのだが、一応次の討論の題材について、基本的な知識は予習するようにしている。

台湾史・授業の内容からレポートを書く時もあるので、復習で大体は理解できるようにしている。レジュメは読みやすい方であるので、老子よりは予習復習がしやすい。

老子・予習も復習も本当にやりにくい授業。レジュメも抽象的で、昔の言葉も多いので、本当に難しい。受けている中で1番難しい。ついていけない気はしないが、自分で日本語訳の本を探して調べたり、頑張れることはやれるようにしている。

台湾近代史・レジュメも理解しやすいので、復習がしやすい。ただこの授業は出てはいるが、履修登録はしていないので、あまり時間を費やしてはいない。

2.3. 語学力について

正直半年も住めば、日常会話くらいは支障なしに話せるようになるかと思っていたが、そんなに甘くはなかった。しかし、最近は英語よりは中国語の方が出てくる。道端で道を聞かれた時や、タクシーの会話ではすべて中国語で話せるようになった。中国語の授業でたくさん先生が当ててくれ、またその回答を理解してくれることによって、中国語を話すという自信はついた。先生と話す際であれば、全部中国語で話すことは可能だが、それ以外の人とでは難しい。すらすらとはいかない。

でも今中国語を話すことはとても楽しいと感じているので、これからも間違いを恐れず、伸ばせるところまで自分の力を伸ばしたい。そのために、語彙力とリスニングに力を入れて、生活していきたい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
<p>正直一人暮らしに慣れすぎて、ルームメイトとの生活は今でも大変だと感じる。当初ほどではないが、まだ気を使うことが多すぎて、この面に関してはいつも疲れている。</p> <p>食べものは、日本よりも断然安いのだが、寮にちゃんとしたキッチンがないので自炊できないことが悲しい。たまには自分で作りたと思うことがある。しかし外食で大体のことはすむのでほとんど毎日外食生活である。</p> <p>冬服はほとんど持っていなかったもので、こちらで買い足した。</p>	

3.2. 課外活動について

<p>休日は勉強してる時が一番多い、11月はテストもあったので勉強をしていた。あと、授業の映画を作る課題のために、撮影をしていることも多かった。大変ではあったが、とても良い経験になった。遠出ならば、日帰りで桃園に行った。台北にはない自然を感じることができて良かった。サークルには入っていない。</p> <p>休日ではないが、平日の夜にどこか行くことが多い。今まで積極的に友達を誘うことは得意ではなかったが、ここに来て積極的に誘えるようになった。なのでとても楽しい。</p>
--

3.3. 現在までの感想

<p>1番の悩みとしては、ここにいるたくさんの日本人留学生在自分より高学歴で、留学している台湾大学に生徒も、日本でいう東大生レベルであるので、学歴コンプレックスが激しい。もちろん、相手は相手では自分は自分で頑張ればいい、とわかってはいるものの、時々本当につらくなり、涙することもある。ぜひ、この留学、そしてそのあとの就職活動を含め、学歴コンプレックスを克服したい。</p>
--

以上